

# あかしSDGsパートナーズ取組計画書

明石市長 様

あかしSDGsパートナーズの取組計画を以下のとおり提出します。

(記入日)2022年5月31日

団 体 名	脱原発明石・たこの会				T E L	078-224-2875			
代 表 者 名	矢野 淳子 (担当:岩村 佐栄子)				メールアドレス	kurinkoneko@gmail.com			
目指すゴール 【複数選択可】 ※ゴール下の枠を チェックしてくださ い									
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
									<input type="checkbox"/>
2030年までに達成したいこと	2030年のあるべき姿として、日本国内の原子力発電所を、全て廃炉の方向で、安全に処理することを提言する。気候温暖化による天変地異が多発する中、また、原子力施設の作業ミスや不可抗力のテロ等の、人為的な破壊の可能性として、原発災害が起こることに備える必要がある。市民が安全に避難できるように、原子力災害についての防災教育を進める。								
重点的な取組 (※)	【取組①】					目標値 / 達成年			
	<p>●取組の趣旨・目的</p> <p>東京電力福島原発事故から11年が経過しているが、未だに原子炉を安全に廃炉できる方法さえ見えない。近年、地震や火山噴火等自然災害が多発している中、また、人為的な危険性も出てきた。原子力災害を想定外にはできなくなった。</p> <p>●具体的な取組内容</p> <p>福井県、愛媛県、島根県の原発が事故を起こしたら、どのようにして市民を守るのかを想定して防災訓練を消防団と考える。</p>					原子力災害の想定・訓練を市内の消防団・消防署に提案 20%以上/2030年			
						該当するゴール			
					     				

	【取組②】	目標値 / 達成年
	<p><b>●取組の趣旨・目的</b> 東電原発事故による小児甲状腺がんの子どもたちが、健康や結婚等の将来への不安を抱えている。放射性物質の影響を調べて、原子力災害の時にどのようにして自身や家族を守るのかを学習する。</p> <p><b>●具体的な取組内容</b> 篠山市が出している「ハンドブック 原発災害にたくましく備えよう」を参考に、市民が参加しやすい、分かりやすい講座等で啓発する。明石市も地域に合った、独自の冊子を作成する。そして、次の世代に伝えていく。</p>	<p>原子力災害に備える講座 累計10回/2030年</p> <p>該当するゴール</p> 